

むらさきそう

西東京市立田無第一中学校
校長 辻 康一

(住所) 西東京市南町6-9-37

(電話) 042-462-2811



URL <https://www.nishitokyo.ed.jp/j-tanashi1/>

当たり前は ありがたい

12月も半ばを過ぎ、様々なことがあった2学期が、そして、令和7年も終わりに近づいてきました。これから年末や年始を控え、1年の締めくくりと、新たな年を迎えるにあたって、一つ考えてほしいことがあります。

みなさんは、誰かに何かをしてもらったときになんと言いますか？ そう、「ありがとう」ですね。「ありがたい」の語源は「有り難い(有ることが難しい)」で、日常生活ではめったにないという意味です。だから、そういうことに会おうと、おそれ多いとか、もったいないという気持ちが起こるのです。そして、私たちは「ありがたい」と思い、「ありがとうございます」という言葉が口をついて出てきます。

では、ありがとうの反対は何でしょう？ それは「当たり前」です。どうか、この年末年始は改めて「当たり前に感謝する」気持ちをもって過ごしてください。私たちは普段、当たり前と覚えることに対しては、特に何も思わずに生活をしています。朝起きてご飯を食べる。服を着替えて学校に行く。学校で授業を受ける。給食を食べる。友達と話をする。トイレに行く。息をする。今、生きている。全部、当たり前のこととして毎日を過ごしていますが、これらは決して当たり前ではないのです。人は当たり前でなくなったときに、初めてそのありがたさを知ります。普通に歩いていた人がケガをして松葉杖を突かなければならなくなったときに、初めて健康のありがたさに気付きます。記憶に残っていることで言えば、新型コロナが蔓延(まんえん)して学校が休校になったとき、これまでの学校生活のありがたさを思い知らされました。

英語では「現在」のことを「present」と言います。贈り物のプレゼントと同じ言葉です。これまで述べてきたことから考えると、私たちが現在できること全部が、実はありがたいプレゼントだと考えられませんか。すばらしいプレゼントをいくつももらって私たちは今を生きています。それら一つひとつに感謝し、命を大事にして生きていくことが大切だと思います。

世界では、今も飢餓に苦しむ人々や戦火の中で明日の命が保証されない人々がたくさんいます。私たちはいつも「当たり前は当たり前ではない」と考え、当たり前に感謝する気持ちを心のどこかに留めておきたいものです。そのことが自分を大切にすると同時に相手を大事にすることにもつながります。

1年の終わりと新たな年の初めにあたり、改めて当たり前だと思っていることを見つめ直してみてください。

【2学年】 鎌倉校外学習（11月28日）

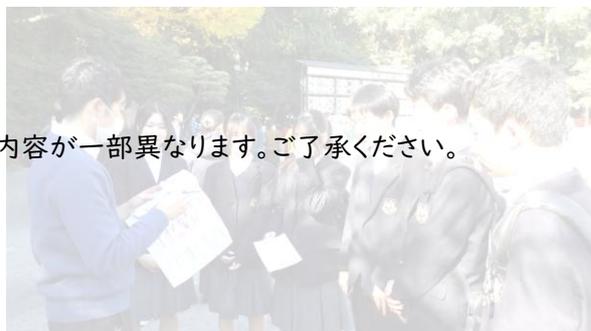
第2学年では、11月28日（金）に鎌倉校外学習に行ってきました。

10月に取り組んだ事前学習では、クラスの中で一人一つのテーマについてレポートを作成し、個人発表を行いました。幅広いテーマについて知ることで、鎌倉の奥深い魅力に気付くことができました。11月から始まったコース作成では、班で決めたテーマに沿ってオリジナルのコースを考えました。

当日は天候にも恵まれ、高德院や鶴岡八幡宮、長谷寺など、武家の古都・鎌倉ならではの学びに触れることができました。事後学習では、実際に足を運び、体験したことを基に、班ごとに壁新聞を作成していきます。



個人情報保護のため、配布された紙面とは内容が一部異なります。ご了承ください。

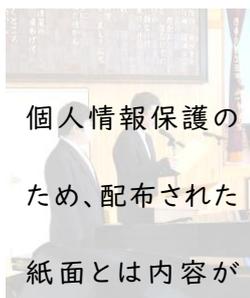


【IJ学級】 四校交流会（11月20日）

IJ学級では、11月20日に田無一中・ひばりヶ丘中・保谷中・青嵐中の四校での交流会を行いました。これまでの交流会では、バスケットボール大会が恒例でしたが、今回は初めて合唱を中心にした交流会として開催されました。

開閉会式では、田無一中の生徒が司会を務め、落ち着いて会を進行することができました。

IJ学級は、10月の合唱コンクールで歌った『BELIEVE』と『あとひとつ』を発表し、心を込めた歌声を響かせました。他校の発表からも刺激を受け、お互いの良さを認め合う貴重な機会となりました。初めての合唱での交流会は、生徒たちにとって新たな経験や学びを得られた、温かく有意義な時間となりました。



個人情報保護のため、配布された紙面とは内容が

一部異なります。

ご了承ください。



オンライン・ドリル（11月19日）

西東京市では、予測不可能な時代に備え、オンライン授業の訓練（ドリル）を行う「西東京市オンライン・ドリル」を実施しています。今年度は11月の実施となりました。

【実施内容】

教科：特別の教科 道徳

1学年 「僕らの未来」

2学年 「AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争」

3学年 「外国から来た転校生」

当日は、オンライン授業の利点を生かした意見交流が行われました。

オンライン授業は、緊急時に対応できる体制を備えておくことで「学びを止めないための手段」として教育活動を進めていくことができます。ご家庭でもご理解いただけると幸いです。

冬季休業中の閉庁日のご案内 12月29日(月)～1月3日(土)

閉庁期間中は、職員不在となりますので対応できかねます。ご不便をおかけしますがご理解ご協力をお願いします。

*「保護者向け学校評価アンケート」では、回答率が70%を上回る結果となりました。ご多用の中、回答にご協力いただきありがとうございます。